令和４年度 事 業 計 画

公益財団法人 医学教育振興財団

令和４年度においては、事業の一層の充実発展を期し、以下の計画を推進する。

1. 医学教育に関する調査・研究並びに資料の収集

（１）第 40 回「国内医科大学視察と討論の会」の開催

国内の医科大学１校を選び、医学教育のシステム、カリキュラム等について実地に視察研究し、今後の医学教育の改善に資する。

期　日：9 月 8 日（木）・9 日（金）/開催校：秋田大学医学部

2. 医学教育に関する研究の助成

（１）基礎医学教育、臨床医学教育及び卒直後教育の調査・研究に対する助成

（２）医学教育賞（懸田賞）

3. 医学教育機関の教職員及び学生に対する研修及び援助

（１）第 33 回「医学教育指導者フォーラム」の開催

国公私立医科大学（医学部）における医学教育の改善並びに教育研究組織の円滑な管理運営に資するため、医学教育について責任ある立場の者を対象に開催する。

期　日：７月 26 日（火）12：30～17：00

開催方式：オンライン

テーマ：Student Doctor のための診療参加型臨床実習

（２）英国大学医学部における臨床実習のための短期留学

医学生の派遣

派遣予定校５校（ﾆｭｰｷｬｯｽﾙ・ｾﾝﾄｼﾞｮｰｼﾞ・ｵｯｸｽﾌｫｰﾄﾞ・ｸﾞﾗｽｺﾞｰ・ﾘｰｽﾞ）

（３）川崎学園・グリーンテンプルトンカレッジ（JMEF）フェローシップ

医学研究者を英国オックスフォード大学グリーンテンプルトンカレッジに医学研究等のために留学させる。

4. 医学教育資料等の刊行

『J.M.E.F.』の刊行、「国内医科大学視察と討論の会」、「英国短期留学」報告書の作成

5. その他目的を達成するための事業

内外の関連機関・団体との提携、協力及び交流を行う。

令和４年度 事業報告書

（令和４年４月から令和５年３月まで）

公益財団法人 医学教育振興財団

令和４年度においては、事業の一層の充実を図りつつ、次のとおり事業を実施した。

1　医学教育に関する調査・研究並びに資料の収集

(1)　第 40 回「国内医科大学視察と討論の会」の開催

国内医学教育事情調査の一環として、秋田大学医学部の協力のもとに「秋田大学医学部における教育」を討論の主題として、大学からの説明、討論、及び学生との懇談を行い、学内施設の視察を行った。ハイブリッド方式(対面とオンライン)にて、全国の国公私立大学医学部等関係者 156 名（対面 56 名、オンライン 91 名）が参加した。

①　期日：　令和４年９月８日(木)・９日(金)

②　場所：　秋田大学医学部

③　討論の主題：

ア　カリキュラムオーバーロード時代のコンピテンス基盤型６年間一貫教育のエッセンスー１年次医療面接演習･OSCE から始まる統合教育とデジタル活用についてー

イ　開設 10 年を迎えるシミュレーション教育センターの教育展開と運営についてー初年次教育～各科臨床実習～卒後教育へとシームレスに展開ー

ウ　医学教育の集大成としての診療参加型臨床実習の工夫ー日々の診療～カルテ記載まで；内科系専門診療科の立場からー

エ　６年間一貫した知識・技術・態度評価の実際と支援を要する学生サポート体制の取り組み

④　プログラム：

９月８日(木)

・開会挨拶　　小川　秀興　医学教育振興財団理事長
山本　文雄　秋田大学学長
羽渕　友則　秋田大学医学部長

・特別講演Ⅰ　医学教育の現状と課題
堀岡　伸彦　文部科学省高等教育局医学教育課企画官

・医学科カリキュラム概要説明
中山　勝敏　秋田大学医学専攻・医学科　学務委員長

・講演１　カリキュラムオーバーロード時代のコンピテンス基盤型６年間一貫教育のエッセンスー１年次医療面接演習･OSCE から始まる統合教育とデジタル活用についてー
長谷川仁志　秋田大学医学専攻医学教育学講座教授

・講演２　開設 10 年を迎えるシミュレーション教育センターの教育展開と運営についてー初年次教育～各科臨床実習～卒後教育へとシームレスに展開ー
守時　由起　秋田大学総合臨床教育研修センター副センター長

・講演３　医学教育の集大成としての診療参加型臨床実習の工夫ー日々の診療～カルテ記載まで；内科系専門診療科の立場からー

高橋　直人　秋田大学総合臨床教育研修センター長

・講演４　６年間一貫した知識・技術・態度評価の実際と支援を要する学生サポート体制の取り組み
中山　勝敏　秋田大学医学専攻・医学科　学務委員長

・学生との懇談

９月９日(金)

・施設見学　　秋田大学医学部附属病院シミュレーション教育センター

・特別講演Ⅱ　秋田大学の現状と問題点及び将来展望
山本　文雄　秋田大学学長

・総合討論　　司会）北村　聖　医学教育振興財団常務理事

・閉会挨拶　　小川　秀興　医学教育振興財団理事長
美作宗太郎　秋田大学医学部副学部長

2　医学教育に関する研究の助成

(1)　令和５年度「医学教育研究助成」

①　基礎医学教育、臨床医学教育及び卒後医学教育の調査・研究に対する助成事業である。令和５年１月 30 日(月)、本財団審査委員会(オンライン方式)において審査を行い、申請 25 件のうち以下の９件（新規採択７件・継続承認２件）に助成した。

氏名	所属大学	研究課題（助成額）
上原　孝紀	千葉大学大学院医学研究院診断推論学･医学部附属病院総合診療科講師	録画カンファレンスを用いた臨床推論能力向上カリキュラムの開発（50 万円）
辻　　憲二	岡山大学学術研究院医歯薬学域腎・免疫・内分泌代謝内科学助教	医学生における超音波ガイド針生検シミュレーション教育の有用性についての検討(50 万円)
萩谷　英大	岡山大学学術研究院医歯薬学域瀬戸内（まるがめ）総合診療医学講座准教授	VR/AR 技術で手指衛生行動改善のための新たな教育ツールを模索する（50 万円）
前田　卓哉	埼玉医科大学臨床検査医学（中央検査部）教授（部長）	双方向性の遠隔検体観察･制御システムを用いた検査試料の顕微鏡観察教育の革新（50 万円）
吉岡　直紀	国際医療福祉大学成田病院放射線科病院教授	ボリュームレンダリング･仮想現実を併用した、３次元画像解剖教育への複合的アプローチ（50 万円）
大河内真之	帝京大学医学部形成外科病院教授	新しい血管内腔観察ツールを併用したわかりやすい微小血管吻合術教育システムの開発（20 万円）

小澤　悠里	杏林大学付属病院小児助教	多職種･キャリア格差のあるチーム医療の問題点の明確化とトレーニングカリキュラムの開発（年度を跨がる研究／１年目）（40 万円）
江口　　隆	信州大学医学部呼吸器外科講師	米国式ディクテーションと手術シミュレーションによる系統的外科トレーニングプログラムの開発（２年間の継続研究／２年目）（48 万円）
正木　克宜	慶應義塾大学医学部アレルギーセンター（呼吸器内科）助教	診療科･所属施設横断型アレルギー診療教育システムの構築（２年間の継続研究、グループ研究／２年目）（100 万円）

②　「医学教育研究助成（令和３年度助成）報告会」の開催

令和４年 12 月 16 日（金）、医学教育研究助成（令和３年度助成）報告会（オンライン方式）が開催され、以下の報告が行われた。研究助成授与者、文部科学省医学教育課、本財団役員等 33 名が参加した。

司　　会）　前野　哲博　医学教育振興財団理事
開会挨拶）　小川　秀興　医学教育振興財団理事長
閉会挨拶・講評）　跡見　裕　医学教育振興財団常務理事

・報告１　「遺伝医療・ゲノム医療」理解促進のための医学教育プログラムの開発と普及に関する研究
小林　朋子　東北大学東北メディカル・メガバンク機構予防医学・疫学部門小児発達学分野准教授

・報告２　WHO カリキュラムに基づいた医療安全 post-CC OSCE の開発
清水　郁夫　信州大学医学部附属病院医療安全管理室助教

・報告３　日本文化に根差した「医療チームにおける医師のリーダーシップ」の包括的再定義の試み
色摩　弥生　福島県立医科大学医療人育成・支援センター教授

・報告４　侵襲手技における cadaver surgical training の virtual reality 研修システムの開発
佐藤　幸男　慶應義塾大学医学部救急医学専任講師

･報告５　Virtual reality による個人防護具着脱法研修は実習と同等の教育効果がある―無作為化オープンラベル比較試験―
安井　洋一　帝京大学医学部整形外科学講座講師

・報告６　医学部における原級留置生はどのような支援を必要としているか
林　　幹雄　関西医科大学教育センター助教

・報告７　予測と振り返りを可能とする先進的脳解剖実習の展開：MRI と AI の活用
青木　茂樹　順天堂大学大学院医学研究科放射線診断学講座教授

(2)　令和４年度「医学教育賞(懸田賞)」

若手の研究者を対象として、医学教育の奨励に貢献のあった者に与える医学教育賞(懸田賞)の第 30 号を授与した。なお、選考は一般社団法人日本医学教育学会に依頼した。

第 30 号受賞者：今福　輪太郎　岐阜大学医学教育開発研究センター講師

論文：　Rewarding journeys: exploring medical students' learning experiences in international electives (Medical Education Online 2021;26(1))

3　医学教育機関の教職員及び学生に対する研修及び援助

(1)　第 33 回「医学教育指導者フォーラム」の開催

令和４年７月 26 日(火)、オンライン方式(Zoom ウェビナー)にて、医学教育に責任のある方々を対象に、全国の国公私立大学医学部等関係者 203 名が参加し開催された。

①　主題　Student Doctor のための診療参加型臨床実習

②　プログラム

・開会挨拶　　小川　秀興　医学教育振興財団理事長

・挨　　拶　　島居　剛志　文部科学省高等教育局医学教育課大学病院支援室室長

・趣旨説明・講演進行　　錦織　宏　名古屋大学総合医学教育センター教授

・講演１　The value of near peer teachers: Designing a resident as teacher program
Subha Ramani
Associate Professor of Medicine, Harvard Medical School, USA

・講演２　Allowing medical students to contribute to patient care: the role of Entrustable Professional Activities
Olle (Th.J.) ten Cate
Professor of Medical Education, University Medical Center Utrecht, Netherlands

・総合討論　司会)　伊野　美幸　聖マリアンナ医科大学主任教授

話題提供　シームレスな医師養成について
佐々木康輔　厚生労働省医政局医事課医師養成等企画調整室長

話題提供　医学教育モデル・コア・カリキュラムの改訂について
伊藤　史恵　文部科学省高等教育局医学教育課長

話題提供　医学生に対する患者安全教育
長尾　能雅　名古屋大学医学部附属病院副病院長・患者安全推進部教授

話題提供　大学病院産婦人科において診療参加型臨床実習を導入するための試みと課題
磯部　真倫　新潟大学医歯学総合病院特任講師

パネリスト）佐々木康輔／長尾能雅／磯部真倫／金子早也香 文部科学省高等教育局医学教育課専門職

・閉会挨拶　　跡見　裕　医学教育振興財団常務理事

(2)　第 32 回「英国大学医学部における臨床実習のための短期留学」の実施

卒前臨床教育の充実向上を図るため、本財団の推薦した日本の医学生が英国の大学医学部において４週間の臨床実習を体験する制度である。

本年度は全国の国公私立大学医学部医学科より 20 名の学生の応募があり、財団の選考委員会による選考を経て７名を派遣することとした。

① 留学期間

・ 令和５年３月６日(月)～３月 31 日(金)　ニューキャッスル大学

・ 令和５年６月５日(月)～６月 30 日(金)　リーズ大学

② 留学生

・ニューキャッスル大学医学部（４名）:

大村　佳蓮（女）　浜松医科大学
堺　　亜紀（女）　徳島大学
中林さやか（女）　札幌医科大学
福田佳那子（女）　山口大学

・リーズ大学医学部（３名）:

大津山彩子（女）　千葉大学
山田　春花（女）　順天堂大学
吉田結美子（女）　国際医療福祉大学

4　医学教育資料等の刊行

本財団機関誌『J.M.E.F.』第 43 号を編集刊行した。また、第 40 回「国内医科大学視察と討論の会」（開催：秋田大学医学部）報告書を作成した。

5　その他

(1)　令和４年度「医学・歯学教育指導者のためのワークショップ」への協力

「医学・歯学教育指導者のためのワークショップ」（文部科学省主催、公益財団法人医学教育振興財団・一般社団法人全国医学部長病院長会議等協力）が令和４年７月 27 日(水)にオンライン方式にて開催され、これに協力した。

6　会員

全医科大学・医学部 82 校（国立 42 校・公立８校・私立 31 校・大学校１校）が一般会員として、本財団事業の実施に参画している。

令和４年度に賛助会員として、財団の事業にご協力いただいた企業は、次の 11 社である。

アステラス製薬株式会社　　アルフレッサ株式会社
学園パーキング株式会社　　協和キリン株式会社
塩野義製薬株式会社　　株式会社スズケン
武田薬品工業株式会社　　第一三共株式会社

中外製薬株式会社　　東邦薬品株式会社
株式会社メディセオ

7　寄附金等の募集

本財団が実施する各種事業の一層の拡充を図るため、下記事業にあてることを目的として寄附金等の助成を受けた。

・「令和４年度 医学教育振興財団事業」に対する寄附として
株式会社医学書院　50,000 円

・「第 33 回 医学教育指導者フォーラム」外国人講師招聘助成として
公益財団法人 持田記念医学薬学振興財団　500,000 円

8　令和４年度 医学教育振興財団 会議録

月　日	会　議　等	議　　事
令和４年 ５月 16 日(月)	第 21 回 理事会 （オンライン方式）	議案 （1）令和３年度事業報告について （2）令和３年度収支決算について （3）評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について 報告 （1）職務の執行状況について
６月７日(火)	第 14 回 評議員会 （対面及びオンライン方式） （TKP ガーデンシティ御茶ノ水）	議案 （1）令和３年度事業報告について （2）令和３年度収支決算について （3）理事の選任について
６月 16 日(木)	理事会（決議省略）	議案 （1）理事長・常務理事の選定について
７月 26 日(火)	第 33 回 医学教育指導者フォーラム（オンライン方式）	詳細は「事業報告書」に記載
７月 27 日(水)	令和４年度 医学・歯学教育指導者のためのワークショップ （オンライン方式）	詳細は「事業報告書」に記載
８月 23 日(火)	英国短期留学選考委員会 （ホテル東京ガーデンパレス）	議案 （1）委員長の選任について （2）面接試験合格者の決定について
９月８日（木） ～９日（金）	第 40 回 国内医科大学視察と討論の会（秋田大学医学部）	詳細は「事業報告書」に記載

	（対面及びオンライン方式）	
10月24日(月)	第１回 運営委員会 （オンライン方式）	議案 (1) 令和５年度「医学教育指導者フォーラム」のテーマについて (2) 令和６年度「国内医科大学視察と討論の会」開催校候補について
12月16日(金)	医学教育研究助成(令和３年度助成)報告会（オンライン方式）	詳細は「事業報告書」に記載
令和５年 １月12日(木)	第２回 運営委員会 （オンライン方式）	議案 (1) 令和５年度「医学教育指導者フォーラム」について (2) 令和６年度「国内医科大学視察と討論の会」開催校候補について
１月30日(月)	審査委員会 （オンライン方式）	議案 令和５年度医学教育研究助成の審査について
３月７日(火)	第22回 理事会 （オンライン方式）	議案 (1) 令和５年度事業計画について (2) 令和５年度収支予算について (3) 各種委員会委員の選任について 報告 (1) 令和５年度医学教育研究助成決定者について (2) 令和４年度英国短期留学選考結果ついて (3) 職務の執行状況について

附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第３項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は、特に無い。

令和4年度収支予算書

（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

公益財団法人 医学教育振興財団

（単位： 円）

科　　目	公益目的事業会計	法人会計	合　計	令和3年度	増　減
Ⅰ　一般正味財産増減の部					
1　経常増減の部					
（1）　経常収益					
①　基本財産運用益	2,660,000	1,140,000	3,800,000	4,000,000	△ 200,000
②　特定資産運用益	1,642,000	0	1,642,000	1,642,000	0
③　受取会費	28,140,000	12,060,000	40,200,000	40,050,000	150,000
④　事業収益	300,000	0	300,000	400,000	△ 100,000
⑤　受取寄付金	20,000,000	0	20,000,000	20,000,000	0
⑥　雑収益	10,000	0	10,000	10,000	0
経常収益計	52,752,000	13,200,000	65,952,000	66,102,000	△ 150,000
（2）　経常費用					
①　事業費	61,615,000		61,615,000	61,615,000	0
奨学金事業費	20,000,000		20,000,000	20,000,000	0
給料手当	17,500,000		17,500,000	17,500,000	0
退職給付費用	500,000		500,000	500,000	0
法定福利費	2,415,000		2,415,000	2,415,000	0
会議費	600,000		600,000	600,000	0
旅費交通費	1,300,000		1,300,000	1,300,000	0
通信運搬費	300,000		300,000	300,000	0
減価償却費	0		0	0	0
消耗品費	100,000		100,000	100,000	0
賃借料	3,000,000		3,000,000	3,000,000	0
調査研究費	3,000,000		3,000,000	3,000,000	0
広報普及費	2,000,000		2,000,000	2,000,000	0
学術会議費	6,000,000		6,000,000	8,000,000	△ 2,000,000
研究助成費	4,800,000		4,800,000	2,800,000	2,000,000
雑役務費	100,000		100,000	100,000	0
②　管理費		12,205,000	12,205,000	12,205,000	0
役員報酬		60,000	60,000	60,000	0
給料手当		7,500,000	7,500,000	7,500,000	0
退職給付費用		200,000	200,000	200,000	0
法定福利費		1,035,000	1,035,000	1,035,000	0
福利厚生費		110,000	110,000	110,000	0
会議費		50,000	50,000	50,000	0
旅費交通費		500,000	500,000	500,000	0
通信運搬費		100,000	100,000	100,000	0
減価償却費		0	0	0	0
消耗品費		400,000	400,000	400,000	0
光熱水料費		350,000	350,000	350,000	0
賃借料		1,200,000	1,200,000	1,200,000	0
諸謝金		100,000	100,000	100,000	0
交際費		100,000	100,000	100,000	0
雑役務費		500,000	500,000	500,000	0
経常費用計	61,615,000	12,205,000	73,820,000	73,820,000	0
当期経常増減額	△ 8,863,000	995,000	△ 7,868,000	△ 7,718,000	△ 150,000
2　経常外増減の部					
（1）　経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
（2）　経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 8,863,000	995,000	△ 7,868,000	△ 7,718,000	△ 150,000
一般正味財産期首残高	376,901,078	98,606,159	475,507,237	483,225,237	△ 7,718,000
一般正味財産期末残高	368,038,078	99,601,159	467,639,237	475,507,237	△ 7,868,000
Ⅱ　指定正味財産増減の部	0	0	0	0	0
Ⅲ　正味財産期末残高	368,038,078	99,601,159	467,639,237	483,225,237	△ 15,586,000

貸　借　対　照　表

令和5年3月31日現在

（単位：円）

科　　目	当　年　度	前　年　度	増　減
Ⅰ　資産の部			
１　流動資産			
現金	65,529	88,816	△23,287
預金	12,133,922	12,311,831	△177,909
流動資産合計	12,199,451	12,400,647	△201,196
２　固定資産			
(1)　基本財産			
投資有価証券	300,000,000	300,000,000	0
基本財産合計	300,000,000	300,000,000	0
(2)　特定資産			
退職給付引当資産	10,135,450	7,929,886	2,205,564
国際交流事業基金			
投資有価証券	210,000,000	210,000,000	0
預金	18,609,194	17,785,740	823,454
特定資産合計	238,744,644	235,715,626	3,029,018
(3)　その他固定資産			
什器備品	0	0	0
電話加入権	233,400	233,400	0
その他固定資産合計	233,400	233,400	0
固定資産合計	538,978,044	535,949,026	3,029,018
資産合計	551,177,495	548,349,673	2,827,822
Ⅱ　負債の部			
１　流動負債			
未払金	0	0	0
預 り金	768,961	683,601	85,360
流動負債合計	768,961	683,601	85,360
２　固定負債			
退職給付引当金	10,135,450	7,929,886	2,205,564
固定負債合計	10,135,450	7,929,886	2,205,564
負債合計	10,904,411	8,613,487	2,290,924
Ⅲ　正味財産の部			
１　一般正味財産	540,273,084	539,736,186	536,898
（うち基本財産への充当額）	(300,000,000)	(300,000,000)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(228,609,194)	(227,785,740)	(823,454)
正味財産合計	540,273,084	539,736,186	536,898
負債及び正味財産	551,177,495	548,349,673	2,827,822

正 味 財 産 増 減 計 算 書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

（単位： 円）

科　　目	当年度	前年度	増減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1　経常増減の部			
（1）　経常収益			
①　基本財産運用益	2,765,300	2,765,300	0
②　特定資産運用益	2,346,771	1,986,682	360,089
③　受取会費	40,200,000	40,500,000	△ 300,000
④　事業収益	101,230	0	101,230
⑤　受取寄付金	550,000	550,000	0
⑥　雑収益	294	272	22
経常収益計	45,963,595	45,802,254	161,341
（2）　経常費用			
①　事業費	33,639,905	33,042,451	597,454
奨学金事業費	0	0	0
給料手当	15,845,008	15,744,203	100,805
退職給付費用	1,543,895	609,951	933,944
法定福利費	2,326,479	2,159,067	167,412
会議費	26,538	26,400	138
旅費交通費	40,220	0	40,220
通信運搬費	219,272	219,855	△ 583
減価償却費	0	0	0
消耗品費	152,135	361,315	△ 209,180
賃借料	2,565,900	2,730,024	△ 164,124
調査研究費	2,187,338	520	2,186,818
広報普及費	359,958	425,744	△ 65,786
学術会議費	3,453,962	1,601,172	1,852,790
研究助成費	4,730,000	9,030,000	△ 4,300,000
雑役務費	189,200	134,200	55,000
②　管理費	11,786,792	10,480,119	1,306,673
役員報酬	60,000	60,000	0
給料手当	6,790,718	6,747,512	43,206
退職給付費用	661,669	261,407	400,262
法定福利費	997,060	925,309	71,751
福利厚生費	135,024	142,643	△ 7,619
会議費	490,294	0	490,294
旅費交通費	27,840	11,500	16,340
通信運搬費	82,892	59,076	23,816
減価償却費	0	0	0
消耗品費	368,708	282,229	86,479
光熱水料費	362,735	352,779	9,956
賃借料	1,085,964	1,085,304	660
諸謝金	99,000	99,000	0
交際費	100,000	2,592	97,408
雑役務費	524,888	450,768	74,120
経常費用計	45,426,697	43,522,570	1,904,127
当期経常増減額	536,898	2,279,684	△ 1,742,786

科　　目	当年度	前年度	増減
２　経常外増減の部 （1）　経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
（2）　経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	536,898	2,279,684	△ 1,742,786
一般正味財産期首残高	539,736,186	537,456,502	2,279,684
一般正味財産期末残高	540,273,084	539,736,186	536,898
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
Ⅲ　正味財産期末残高	540,273,084	539,736,186	536,898

正 味 財 産 計 算 書 内 訳 表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

（単位： 円）

科　　目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合　計
Ⅰ　一般正味財産増減の部				
1　経常増減の部				
（1）　経常収益				
①　基本財産運用益	1,935,710	829,590		2,765,300
②　特定資産運用益	2,346,771	0		2,346,771
③　受取会費	28,140,000	12,060,000		40,200,000
④　事業収益	101,230	0		101,230
⑤　受取寄付金	550,000	0		550,000
⑥　雑収益	294	0		294
経常収益計	33,074,005	12,889,590	0	45,963,595
（2）　経常費用				
①　事業費	33,639,905		0	33,639,905
奨学金事業費	0			0
給料手当	15,845,008			15,845,008
退職給付費用	1,543,895			1,543,895
法定福利費	2,326,479			2,326,479
会議費	26,538			26,538
旅費交通費	40,220			40,220
通信運搬費	219,272			219,272
減価償却費	0			0
消耗品費	152,135			152,135
賃借料	2,565,900			2,565,900
調査研究費	2,187,338			2,187,338
広報普及費	359,958			359,958
学術会議費	3,453,962			3,453,962
研究助成費	4,730,000			4,730,000
雑役務費	189,200			189,200
②　管理費		11,786,792	0	11,786,792
役員報酬		60,000		60,000
給料手当		6,790,718		6,790,718
退職給付費用		661,669		661,669
法定福利費		997,060		997,060
福利厚生費		135,024		135,024
会議費		490,294		490,294
旅費交通費		27,840		27,840
通信運搬費		82,892		82,892
減価償却費		0		0
消耗品費		368,708		368,708
光熱水料費		362,735		362,735
賃借料		1,085,964		1,085,964
諸謝金		99,000		99,000
交際費		100,000		100,000
雑役務費		524,888		524,888
経常費用計	33,639,905	11,786,792	0	45,426,697
当期経常増減額	△ 565,900	1,102,798	0	536,898
2　経常外増減の部				
（1）　経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
（2）　経常外費用				
経常外費用計		0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 565,900	1,102,798	0	536,898
一般正味財産期首残高	431,261,024	108,475,162		539,736,186
一般正味財産期末残高	430,695,124	109,577,960		540,273,084
Ⅱ　指定正味財産増減の部	0	0	0	0
Ⅲ　正味財産期末残高	430,695,124	109,577,960		540,273,084

附 属 明 細

1 基本財産及び特定資産の明細

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産					
	投資有価証券	300,000,000	0	0	300,000,000
	基本財産計	300,000,000	0	0	300,000,000
特定資産					
	退職給付引当資産	7,929,886	2,205,564	0	10,135,450
	国際交流事業基金(投資有価証券)	210,000,000	0	0	210,000,000
	国際交流事業基金(普通預金)	17,785,740	823,454	0	18,609,194
	特定資産計	235,715,626	3,029,018	0	238,744,644

2 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	7,929,886	2,205,564	0	0	10,135,450

財　産　目　録

令和5年3月31日現在

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
（流動資産）				
	現金	手元保管	運転資金として	65,529
	預金	＜普通預金＞ みずほ銀行町村会館出張所	運転資金として	12,027,417
		＜通常貯金＞ ゆうちょ銀行	運転資金として	106,505
流動資産合計				12,199,451
（固定資産）				
基本財産	投資有価証券	第51回ソフトバンク社債他	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業及び管理目的の財源として使用している。（共用財産）	300,000,000
特定資産	退職給付引当資産	＜普通預金＞ 三菱UFJ銀行赤坂支店	職員退職給付引当金見合の引当資産として管理している。	10,135,450
	国際交流事業基金	＜投資有価証券＞ イオンモール第27回無担保社債他	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	210,000,000
		＜普通預金＞ 三菱UFJ銀行虎ノ門支店	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している。	18,609,194
その他の固定資産	什器備品	財団内：金庫、書架他	法人の基礎となる財産であり、公益目的保有財産として70%、管理目的として30%使用している。（共用財産）	0
	電話加入権	財団内：03-3815-3895他2本	法人の基礎となる財産であり、公益目的保有財産として70%、管理目的として30%使用している。（共用財産）	233,400
固定資産合計				538,978,044
資産合計				551,177,495
（流動負債）				
	未払金	職員	職員1名の3月分の超過勤務手当として	0
	預り金	職員	職員3名の源泉所得税、社会保険料、住民税の預かり分	768,961
流動負債合計				768,961
（固定負債）				
	退職給付引当金	職員	職員3名に対する退職金の支払いに備えたもの	10,135,450
固定負債合計				10,135,450
負債合計				10,904,411
正味財産				540,273,084